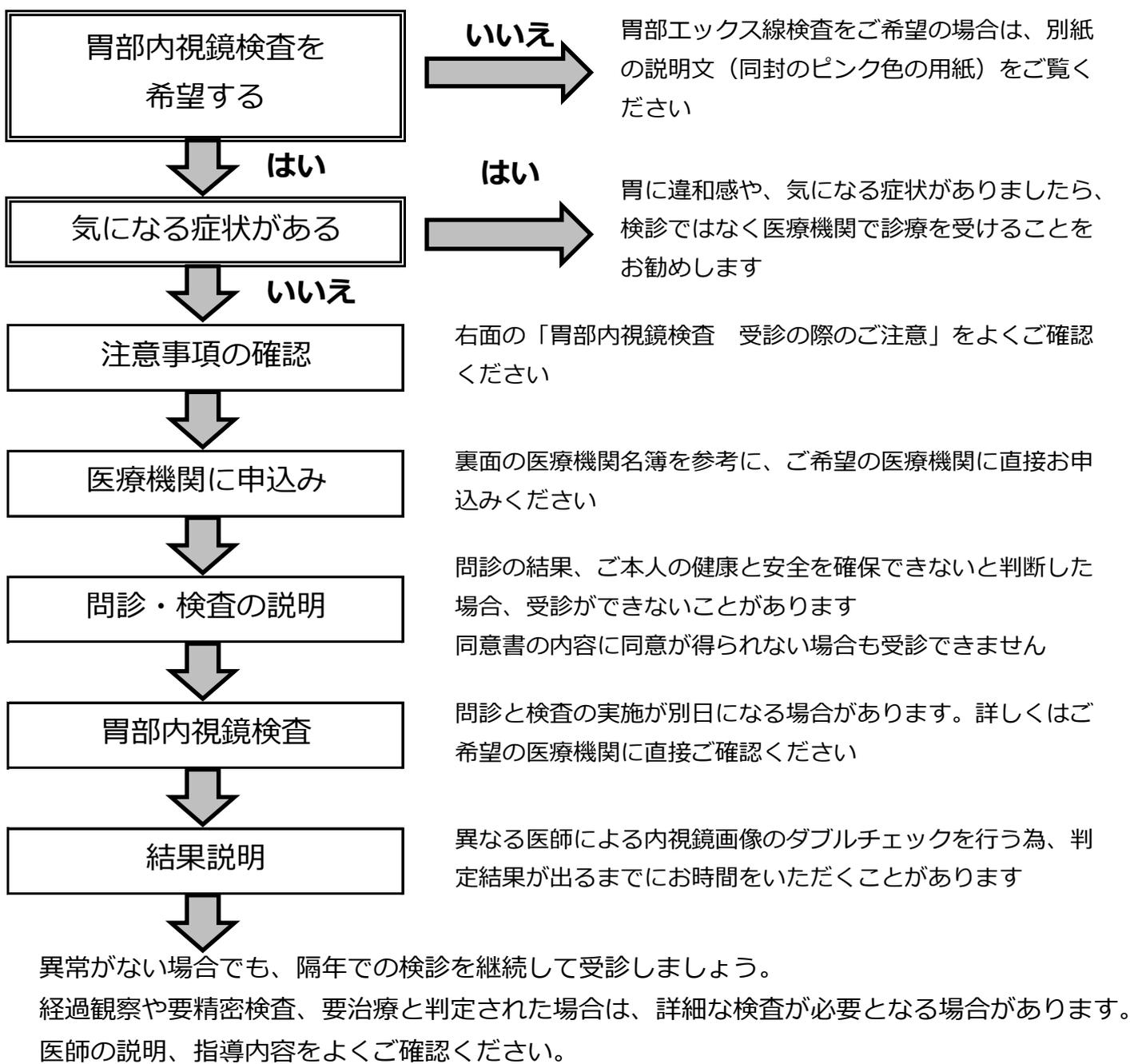


平成29年度胃がん検診（胃管内視鏡検査）

検診内容	問診、胃管内視鏡検査
検診費用	1,500円 ただし、次に該当する方は無料となります。 ①70歳以上の方 ②生活保護世帯の方 ③児童扶養手当を受給されている方 ④後期高齢者医療被保険者証または老人医療費受給者証をお持ちの方 <u>※検診以外の診療や、検診結果による検査や治療は別途料金がかかります。</u>

胃管内視鏡検査 受診の流れ



検診で100%、がん等の疾病を発見できるとは限りません。

がん検診は健康で自覚症状のない方に対し、がんの可能性を見つけて精密検査の必要性を判断するものです。検診で異常がみつからなかったとしても、違和感や気になる症状がある場合は、すみやかに医療機関で診察を受けましょう。

胃部内視鏡検査 受診の際のご注意①

胃部内視鏡検査とは

胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。内視鏡を口または鼻から挿入するため、検査の準備として麻酔などの事前処置が必要です。

ただし、鎮痛剤（痛み止め）や鎮静剤（眠くなる薬）は、検査後の十分な監視が必要となるため、市の検診では使用しません。鎮経剤（胃の動きをおさえる薬）については、各医療機関の判断で使用する場合があります。

胃内視鏡検査は胃の中の小さな病変を見つけることが可能で、医師はモニターを見ながら食道・胃・十二指腸球部を観察します。

市の検診では、精度を保つため、異なる専門医による内視鏡画像のダブルチェックを行います。そのため、最終的な判定結果の説明までお時間をいただく場合があります。

胃部内視鏡検査を受けることができない方

検診は健康な方の中から疾患を発見するためのもので、安全に検査を行う必要があります。

次に該当する方は、安全等を考慮し、検診としての胃部内視鏡検査を受診できませんので、ご了承ください。

- ◇ 内視鏡検査の実施に関する同意書に同意が得られない方
（同意書の説明は医療機関にて行います）
- ◇ 妊娠中の方、またはその疑いがある方
- ◇ 疾患の種類にかかわらず、入院中の方
- ◇ 胃の病気で通院中、治療中の方
- ◇ 胃を全摘出された方
- ◇ 内視鏡の挿入ができない方
- ◇ 呼吸不全のある方
- ◇ 急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの心疾患のある方
- ◇ 出血しやすく、血がとまりにくい方
- ◇ 血圧が極めて高い方
- ◇ 抗血栓薬を服用されている方（詳しくは裏面左側をご確認ください）
- ◇ 当日の体調などにより、医師が検査困難と判断した方

※ご不明な点については、主治医または申込み先の医療機関にお問い合わせください。

飲食、服薬等について

検査前日の飲食は、検査開始の12時間前までにとり、以降の食事は禁止としますが、脱水予防のため適量の飲水（水、白湯）は検査直前までかまいません。飲水量に制限はありません。

検査前の水、白湯以外の飲水、飴、ガム、喫煙は、検査に支障が出る可能性がありますので、避けください。検診を受診できない場合があります。

検査後、1時間程度は水分や食事を摂取しないようにしてください。

検査当日の朝に内服が必要な薬（降圧薬など）は、検査開始の3時間前までに内服してください。

い。服薬に不安がある方は、主治医にご相談ください。

胃管内視鏡検査 受診の際のご注意②

抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）について

抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）は、脳梗塞や心筋梗塞などを予防するための薬です。

服用中の場合、生検（患部の一部を切り取って、顕微鏡などで調べる検査）や、胃粘膜に傷がついた際に血がとまりにくくなることもあるため、市の検診では抗血栓薬を服薬中の方は対象外とします。

抗血栓薬の例

- ◇ バファリン
- ◇ バイアスピリン
- ◇ パナルジン（チクロピジン）
- ◇ プラビックス（クロピトグレル）
- ◇ エフィエント
- ◇ プレタール（シロスタゾール）
- ◇ ワーファリン
- ◇ プラザキサ
- ◇ エリキュース
- ◇ イグザレルト
- ◇ リクシアナ など

他にも多数の種類がありますので、自分の飲んでいる薬に抗血栓薬または同様の成分が含まれていないか、主治医に確認してください。また、検診受診時には、必ずお薬手帳を持参してください。

胃管内視鏡検査以外の検査（保険診療）について

胃管内視鏡検査を実施の際、医師が必要と判断した場合は、生検（患部の一部を切り取って、顕微鏡などで調べる検査）や、ピロリ菌（胃がんになるリスクをあげる因子）の検査や除菌を行う場合があります。これらの検査を実施した場合、保険診療として、別途請求がありますので、ご了承ください。

また、検査の結果、胃がん疑いと判定された場合、精密検査として胃管内視鏡検査や生検を保険診療として、改めて実施することもあります。

偶発症について

胃管内視鏡検査では、十分な注意を払いますが、次のような偶発症が起きる可能性があります

- ◇ 内視鏡による出血、穿孔（穴があくこと）
- ◇ 生検による出血、穿孔
- ◇ 薬剤によるアレルギー（呼吸困難、血圧低下など）
- ◇ 検査前からあった疾患の悪化（症状の出ていなかった疾患も含む）

※検査終了後、何らかの異変を感じた場合には、受診した医療機関に相談してください。